

1. 令和3年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

図1 特定健診受診率・保健指導実施率の推移

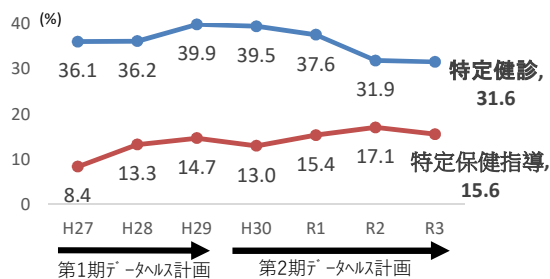


表1 H30～R5年度 目標と実績

		H30	R1	R2	R3	R4	R5
		特定健診受診率 (%)	39.5	41.0	42.5	44.0	45.5
保健指導実施率 (%)	目標	16.5	18.0	19.5	21.0	22.5	24.0
	実績	13.0	15.4	17.1	15.6		

表2 R3年度 政令市・県内市町村での順位

	政令市 20		県内市町村 54	
	順位	平均	順位	平均
特定健診受診率	8 (↓)	28.1%	42 (↓)	36.6%
保健指導実施率	8 (↓)	14.0%	39 (↓)	22.2%

表3 R3年度 実施内容と実施状況

	実施内容		R3年度の状況
	実施内容	R3年度の状況	
健診	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）のリスクに着目した、生活習慣病を予防するための健診。40～74歳が対象。		対象者数：124,566人 受診者数：39,379人
	特定健診の結果、生活習慣改善の必要があるとされた方に実施する3～6か月間の保健指導。		対象者数：4,340人 終了者数：676人
保健指導	動機付支援	初回面接+3か月以上経過後評価	対象者数：3,488人 終了者数：590人
	積極的支援	初回面接+毎月継続支援+3か月以上経過後評価	対象者数：855人 終了者数：86人

2. データヘルス計画における個別保健事業 指標ごとの実績・評価 【達成状況】○：目標達成 △：目標未達だが、前年度より改善または同値 ×：目標未達、前年度より悪化

目標	事業（対策）	R3年度事業概要（R4.6時点の実績）	評価指標	H30	R1	R2	R3																																	
				実績	実績	実績	実績	目標	達成状況	評価																														
1	特定健康診査の受診率の向上	1 はがき勧奨（8～10月） 99,175件 健診受診歴により対象者を分類。対象者別に勧奨通知を送付。 2 電話勧奨（11月） 513件（状況確認できた件数 274件） 国保連合会の受診率向上支援事業を活用。40～59歳の不定期受診者へ電話勧奨を実施 3 39歳へはがき勧奨（R4.3月） 1,631件 次年度健診の対象となる39歳へ健診の啓発を実施。 4 お知らせサービス（LINE） 996件 2 経年の健診結果を通知（8月） 1,933件 ・経年結果及び健康アドバイスを記載した通知を送付。 3 リーフレット・ポスター等による事業周知：受診券・勧奨はがき・国民健康保険関係書類・区役所・保健福祉センター・商業施設・高齢者施設（新規）千葉市健康づくり推進事業所、美容業組合、障害者施設 2 過去の申請者へ申請書を送付（R4.3月） 353件	①40～64歳の受診率(%)	26.4	24.7	20.5	20.4	29.0	×	・①40～64歳の受診率、②65～74歳の受診率、③長期未受診者割合は、はがきや電話等による勧奨を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響による受診機会の減少により目標には届かなかった。 ・④継続受診率は、目標には達していないが、前年度より増加した。前年度の健診受診者へ健診結果の通知を送付することで受診を促すことができた。 ・⑤健診結果報告人数は、目標を達成した。未受診者ははがきでの周知や新たな場所での周知が健診結果の報告につながった。 ⇒R4年度：継続実施。 ・勧奨内容や実施方法（勧奨時期・回数等）の見直しを行い、医師会や関係機関と連携しながら、健診受診につながる取り組みを実施していく。																														
			②65～74歳の受診率(%)	48.0	45.9	39.2	39.0	51.6	×																															
			③長期未受診者*1割合(%)	43.5	43.8	44.6	45.7	41.0	×																															
2	特定保健指導の実施率の向上	1 民間委託事業者(千葉薬品)が利用勧奨を実施（通知・電話）1,332件 動機付け支援 利用勧奨1,002人 初回面接 279人(27.8%) 積極的支援 利用勧奨 330人 初回面接 72人(21.8%) 2 医療機関で実施予定者へ利用勧奨を実施（通知・電話）通知 495人（再掲：電話119人（40～65歳）） ・店舗・訪問・ICTにて保健指導実施 R3委託事業者:千葉薬品 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象(人)</th> <th>初回面接者(人)</th> <th>終了者(人)</th> <th>利用率(%)</th> <th>実施率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民間委託</td> <td>1,002</td> <td>279</td> <td>262</td> <td>27.8</td> <td>26.1</td> </tr> <tr> <td>積極</td> <td>330</td> <td>72</td> <td>69</td> <td>21.8</td> <td>20.9</td> </tr> <tr> <td>医師会</td> <td>1,520</td> <td>442</td> <td>372</td> <td>29.1</td> <td>24.5</td> </tr> <tr> <td>積極</td> <td>322</td> <td>72</td> <td>39</td> <td>22.4</td> <td>12.1</td> </tr> </tbody> </table>		対象(人)	初回面接者(人)	終了者(人)	利用率(%)	実施率(%)	民間委託	1,002	279	262	27.8	26.1	積極	330	72	69	21.8	20.9	医師会	1,520	442	372	29.1	24.5	積極	322	72	39	22.4	12.1	④継続受診率*2(%)	76.9	72.1	69.4	74.8	75.0	△	・⑥利用率は、勧奨通知の工夫（申し込み用二次元バーコードの記載や年代別の通知内容）をした結果、目標値には達しないが、前年度より増加した。 ・⑦⑧動機付け支援の終了率・実施率は、指導開始後、服薬を開始した方が多く、評価終了に至らなかった。そのため、目標には届かなかった。積極的支援の終了率・実施率は、目標には届かなかったが前年度より増加した。 ⇒R4年度：継続実施。 ・医師会や関係機関と連携しながら、ウェアラブル端末を利用した保健指導など特定保健指導の利用につながる取り組みを実施していく。
				対象(人)	初回面接者(人)	終了者(人)	利用率(%)	実施率(%)																																
			民間委託	1,002	279	262	27.8	26.1																																
積極	330	72	69	21.8	20.9																																			
医師会	1,520	442	372	29.1	24.5																																			
積極	322	72	39	22.4	12.1																																			
⑤結果報告人数(人)	248 モデル実施	182 本格実施	137	277	前年より増加	○																																		
⑥利用率(%)*3	動機付け支援	17.7	20.7	20.0	20.4	26.7	△																																	
3	重症化予防	1 受療勧奨と保健指導 ・健診の結果、治療が必要な方へ受療勧奨を実施(通知・電話・訪問) 6か月後に受療状況をレセプトで確認。指導実施者 695人 ・人工透析移行防止のために、千葉市医師会と連携し、糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクの高い方を対象に6か月間保健指導を実施。R3年度：保健指導実施者 24人 修了者18人 ・H28～R2年度実施者へフォローアップ実施。保健指導修了者 R2年 15人 R1年 20人 H28-30年 10人	⑦終了率(%)*4	81.9	82.0	95.2	73.3	73.6	×	⇒R4年度：継続実施。 ・医師会や関係機関と連携しながら、ウェアラブル端末を利用した保健指導など特定保健指導の利用につながる取り組みを実施していく。																														
			⑧実施率(%)	動機付け支援	81.9	82.0	95.2	73.3	73.6		×																													
			⑨指導後受療率(%)*5	積極的支援	12.2	13.3	13.5	14.3	22.6		△																													
3	重症化予防	1 受療勧奨と保健指導 ・健診の結果、治療が必要な方へ受療勧奨を実施(通知・電話・訪問) 6か月後に受療状況をレセプトで確認。指導実施者 695人 ・人工透析移行防止のために、千葉市医師会と連携し、糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクの高い方を対象に6か月間保健指導を実施。R3年度：保健指導実施者 24人 修了者18人 ・H28～R2年度実施者へフォローアップ実施。保健指導修了者 R2年 15人 R1年 20人 H28-30年 10人	⑩事業参加者の新規透析患者数(人)	-	0	1	0	0	○	⑩保健指導実施者は、人工透析には至らなかった。 ⇒R4年度:43人実施。 H28～R3年度実施者へフォローアップ実施。 R3年 10人 R2年 12人 R1年 2人 H28-30年 9人																														
			⑨指導後受療率(%)*5	全体	29.7	28.1	32.9	36.6	28.3	○																														
			⑩事業参加者の新規透析患者数(人)	-	0	1	0	0	○																															

* 特定健診受診率=受診者数/対象者数 * 特定保健指導実施率=終了者/対象者 *1 長期未受診者割合=5年間健診を利用していない者の割合 *2 継続受診率=2年間連続して健診を受けた人の割合 *3 利用率=初回面接を受けた者/対象者 *4 終了率=終了者/初回面接を受け *5 指導後の受療率=指導後の受診率

【総括】○達成…3項目 △目標未達だが、前年度より改善または同値…5項目 ×未達成…5項目
 今後、特定健診の受診率向上の取り組みとして、勧奨内容や実施方法の見直しを行い、医師会や関係機関と連携しながら引き続き実施していく。また、特定保健指導の実施率向上の取り組みとして、ウェアラブル端末を利用した保健指導など特定保健指導の利用につながる取り組みを実施していく。